



日々ぼちぼちと

発行：〒714-1202 岡山県小田郡矢掛町小林27番地
(株)かむら堂 小規模多機能ホームぼちぼち
TEL：0866-82-2277 FAX：0866-82-2279

2012.11.1発行
第3号

このニューズレターは、(株)かむら堂 小規模多機能ホームぼちぼち とご縁のある方に贈ります。

わたしのぼちぼち

前号で、幼少期に遊びに行った場所を書いたが、その中でも一際記憶に残っている船橋ヘルセンタ、そんな夢のような船橋ヘルセンタだったのが、後に閉場したことを知る。現在は日本で最大級の商業複合施設ららぽーとTOKYU-BAYYになっているらしい。

そんな幼少期を過ごしていたときに、私にとっては大きな出来事が起こった。父親の転勤で、岡山に引越すことになったのである。引越す前は連島の川鉄田地。後に玉島長尾への引越が決まっていたこともあり、そこからバスで玉島長尾小学校へ通学するのが一年近く続いた。元々引越込み思案だったことと言葉の遣い、バス通学していることだし、しばらく友達が出来ない。何とかなじもうと岡山弁を一生懸命覚えようとしたが、アクセントの違いをからかかれ、よけいしやべりにくくなり、友達の輪の中に入れない。そんなときに事件が起こる。当時同じ団地で一緒だった友達と川へ魚釣りに行こうと二人で歩いていたら、見知らぬおじさんが声をかけてきて、友達を連れてどこかへ行ってしまったのである。「すぐ戻ってくるからここで待っていて」おじさんの言うとおりに素直に二時間近く待っていた私。おかしいと気がくままでにそれからしばらくかかった。ずっと待ち続けている私のところに母親といなくなった友達の母親が血相を変えてやってきたからである。……次号へ続く。



スタッフ紹介

- 名前：澤聡美
- 役職：リーダー
- 資格：介護福祉士、ケアマネジャー



東京オリンピックピックの前の年、昭和三十八年、岡山市の西の端妹尾に生まれる。当時は都窪郡。お盆とお彼岸の年三回お墓参りに岡山へ出かけ、帰りにレコードを買うのが何よりの楽しみだった。(野口五郎のファン)

十年ほど前、主人と子供二人の家族四人で倉敷より美星町へ移り住む。野菜を作りながらゆっくり暮らそうと思っていたが、実際はそうもいかず働きに出ることになる。ヘルパー二級を取得した後も二の足を踏んでいた介護の仕事。私に出来るのか？と自問自答を繰り返していたのに今はぼちぼちでちよつとはまっている。面白くもあり、しんどくもあり、全部染しめるように笑っていた。目指す先は“仏様”、ただ今、修行中です。好きな物はチョコレート！

みなさまからの声

いつも大変お世話になって、有難く感謝しております。やさしいスタッフの方々に見守られて、本人も楽しみにしております。おかげ様で、私も心配することなくスケジュールをこなせる事が出来、助かっております。今後ともよろしくお願い致します。(多賀あつみ様)



認知症

ワソポイントアドバイス

認知症の方への対応基本十七条

二、同情・共感・支持・承認など、場面に応じた細かい配慮が必要である
 例えば、認知症の方が何かをしようとと思ったときには、「大丈夫ですよ」「それでいいんですよ」などと支持・承認し、後押しするなど、細かい配慮が必要ですよ。また、「困った、困った」と独り言をおっしゃる場合もありませんが、「どうしましたか?」「……」「それは困りましたね」と、困っていることに同情・共感することも大切です。

三、自身のバランスを崩さないようにする

認知症の方は、急激な変化に対応できません。したがって介護者は、認知症の方を「早くして下さい」「などと急がしてはいけません。そして、パニックや混乱を避けるためにも、一度に多くの指示や情報を与えないことがとても大事です。これは、認知症の方だけでなく高齢者全般に言えることです。高齢者になるに従い、物事を判断するのにならなくても、時間がかかるようになるため、ゆっくりと分かりやすく、一つ理解していただけたら次の話に進む、というような話し方を心がけて下さい。(次号へ続く。)

(参考資料 認知症の介護、困る場面の声かけテクニク)

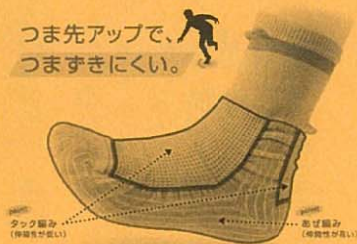


何でも

掲示板

インターネットで介護用品を見ていたら、テルモ株式会社今年発売した転倒予防靴下「アップウオーク」というのがあった。特徴は、伸縮性の高い「あぜ編み」と低い「タック編み」の二つの組み合わせでつま先がアップしつまずきにくくなり、歩きやすくなるというもの。ほかに、指をかけるフックがついていて、片手でもはけるようになっていたり、凸凹のある編み方が二重構造のために保湿性が高くなっていること、かかとの上部は「タック編み」で関節をしつかりホールドしずりおちにくくなっていることだそう。興味のある方は試してみたいかがですか。(村上)

つま先アップで、つまずきにくい。



食ベロゲ

今回は、宇内のおそば屋さん「粟山子」。以前から田んぼのど真ん中にそばののぼりが立っていて気になっていたが、知り合いの紹介もあり同じ職場の仲間と二人で出かける。普通の民家が店舗になっており、和室のテーブル席が6つほどある。お店の中は心地よいジャズが流れ落ち着ける空間。まず、そばかりんとうがでてきて、それをつまむ。ほどよい塩加減でポリポリと進む。そばの風味もあっておいしい。食毕終わった頃に注文していたもりそばとそば豆腐が運ばれてくる。そば豆腐は、ごま豆腐のような味と食感。そばは二ハで香り・喉越しともいい。そばを食べた後はそば湯とそば茶もいただいた。気さくなご主人との会話も楽しみ店を後にした。(村上)



編集後記

先日の晩、福山のリーデンローズで居酒屋・介護事業等を運営しているワタミの会長、渡邊美樹氏の講演があり聞きに行った。夢に日付を入れるというのは以前にも雑誌で読んだことがあったが、講演を聞いて改めて夢を持つ大切さを実感した。「夢の中に未来がある」「あきらめなければ夢は必ずかなう」と信じて頑張っていこうと思った。(村上)